

平成30年度 事務事業評価シート

事務事業名		英語教育の充実(中学校)				所管	教育委員会 指導課			
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	228	計画事業名	英語教育の充実					
	長期総合計画体系	[基本目標] Ⅲ-2. 次の世代の育成						事業の開始・終了年度		
		[小 柱] (3)社会を生き抜く力を育てる教育の推進						[事業開始]	平成 20 年度	
		[施 策] ①個性を生かす学校教育の充実						[終了予定]	- 年度	
	根拠法令等	その他		[法令等名]	学習指導要領					
	事業対象	直接の対象 : 区立中学校 最終的な対象 : 上記全学年の生徒								
	事業目的	生徒の英語能力の向上並びに国際感覚を養い、コミュニケーション能力の高い豊かな人材を育成する。								
事業内容 [29年度]	台東区立中学校において、外国指導助手を配置し、英会話、発音指導等を行い、英語に親しむ心を育てる。また、英語教諭に対する研修を行い、教員の指導力を高める。国際社会に生きる日本人としての資質や態度を育成し、英語教育の充実・改善を図る。									
委託の有無	一部委託		委託内容	外国人英語指導員の配置業務委託						
補助金の有無	なし									
事務事業の実績	種 別	指標の名称		単位	31年度 目標値	27年度 実績	28年度 実績	29年度 実績		
	活動指標	外国語指導助手(ALT)配置日数(全校)		日	420	411	405	413	420	98.3%
		対象生徒数		人	2,400	2,318	2,295	2,275	2,400	94.8%
	決算額 (単位:千円)					27年度		28年度		29年度
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)				7,989	7,873	8,015		
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)				241	268	251		
		その他のコスト(扶助費・補助費など)				7,990	7,873	8,015		
		総経費				8,231	8,141	8,266		
	財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)				0	0	0		
		その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)				0	0	0		
一般財源(区負担額)				8,231	8,141	8,266				
前回評価から29年度に改善した事項	なし									
評価の視点	評価	評価の理由								
	必要性	3	東京2020大会開催を控え、国際化が進む社会状況からも本事業の必要性は高い。また、平成32年度から実施される大学入試共通テストでの4技能の試験の実施や、都立高校入学者選抜でスピーキングテストの導入を検討していることから生徒の「話す」「聞く」能力を養うためALTの必要性が増している。							
	効率性	3	ALTが派遣される日に空き時間が生じないよう各校において時間割を工夫することでコストを増やさず時数を最大限確保している。							
	手段の適切性	3	業務委託により実施することで、指導技術や人材の確保が一定程度保障され、地域人材の活用など他の方法に比べ安定した運営ができています。							
目的達成度	4	本事業は全校で実施されており、すべての生徒がALTによる指導を受けており、国際感覚を育むことができています。								
[総合評価] ※上記4つの視点を踏まえ、事業全体を評価。区民生活への影響を十分考慮すること。						今後の方向性				
全校でALTの派遣を実施できている。現在、都立高校入試にスピーキングテストを導入する検討がされている。生徒の「話す」「聞く」能力がこれまで以上に重要視されることとなり、授業における英語によるコミュニケーションの機会をALTによる指導で充実させ、生徒の英語能力の向上や国際社会に生きる資質・能力の向上を図るため、本事業を継続していく。						維持		拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了		